

平成26年度 特別推進研究 審査の所見

研究課題名	深海調査で迫るプレート境界浅部すべりの謎～その過去・現在
研究代表者	日野 亮太
審査の所見	<p>応募者は2011年東北地方太平洋沖地震においてプレート境界浅部すべりが発生し、地震・津波の巨大化を招いたことを明らかにした。これは従来の地震学では想定されていなかったことである。</p> <p>本研究は、この成果に基づき、これまでの調査の空白域であった海溝軸付近の深海を調査することにより、浅部滑りの発生履歴と発生域における断層運動を明らかにし、そのメカニズムを解明しようとするものである。世界的に見てもユニークかつ有意義な研究であり、応募者のこれまでの研究実績から判断して、優れた研究成果が期待できるため、特別推進研究として採択することが適当であると判断した。</p>